

## 特色ある教育活動

―「都市教育・研究助成」を生かした取り組み紹介―

### 「自分の思いを語る生徒」

を目指して

豊田市立猿投台中学校

校長 加藤 康 人

猿投台中学校は、東に矢作川が流れ、北には猿投山を臨む高台に位置しています。生徒数は435人。「純真・敬愛・希望」の校訓のもと、「自ら輝き、ともに輝き合う台中生」を合い言葉に主体的な活動や行事に力を入れていきます。

豊田市教育局委員会の研究指定を受け、道徳研究推進校として、主題「互いに認め合い、仲間とともに主体的に行動できる台中生の育成ーコミュニケーションシジョン力を育てる道徳科の実践を通して」に取り組みました。研究内容を機つか紹介します。

#### 一 オリエンテーション授業とマイベストタイム

一定期間の道徳学習における自分の成長を振り返らせる目的で学期のはじめに「オリエンテーション授業」を、終わりに「マイベストタイム」を設定しました。オリエンテーション授業では、道徳は、生き方を深める場であり、自分や周囲の

よさに気付く時間であること。何を語ってもよく、相手にわかりやすく伝えること。共感的に聴くこと。違和感や異質感到に気付くことなどの点を押さえました。

マイベストタイムでは、学期で一番心に残った授業を思い出させ、何に気付き、その後どんな影響を自分に与えているか振り返らせました。これは、生徒の評価にも活用しました。

二 話題づくり「考えるコーナー」の設置

授業以外に生徒が主体的に考え、語り合う機会を増やす目的で「考えるコーナー」を設けました。毎週月曜日、身のまわりから世界の話題、意見が対立する話題など、様々な視点から教師が考えた話題が全学級に与えられます。それを各教室と昇降口に掲示します。シールや色紙で意思表示をしたり、掲示板の用紙に自由記述したり、仲間と話題にする生徒も増えていきます。学級では、STにグループで語り合う時間を設定し、自分の考えを楽しく仲間に表示できる場を作っています。



#### 三 家庭で道徳「徳119の日」

家庭で生き方を考える機会を作るため、毎月19日を「とく」と振って、「徳の日」と設定しました。7月は「あいさつ」9月は「気配り」と親子で語り合うテーマを与えました。また、「考えるシート」(授業の振り返りシート)で道徳の学習状況を家庭にも伝えていきます。あいさつのテーマに対し、「何故、どの国にも同じように挨拶の言葉があるのかを考えてみるよい機会となりました」等、多くの保護者から、ご意見や感想をいただきました。今後も、親子コミュニケーションの場として活用していきます。

進歩したことは、教師が、生徒の成長を楽しみに授業に向かう意識が高まったこと、生徒の考えを大切にして授業を進めるようになったこと等、道徳が生徒にとって本当に貴重な時間であることに再認識したことです。生徒は、制限のある中でも、仲間を大切に、学校生活や縮小された行事に主体的に取り組み姿勢があります。道徳学習が、生活に生かされていることが、大きな成果だと感じています。

